

# 環境問題と良心

神学部 教授・良心学研究センター長 小原克博

1

## Overview

1. 環境問題への対応——未来世代に対する責任
2. 良心の境界——「共に知る」コミュニティの変遷
3. 「次の環境」と良心の拡張
4. 今回の課題

2

# 1

## 環境問題への対応 —— 未来世代に対する責任 ——

3

## 【復習】西洋における「良心」

- conscience ← conscientia（コンスキエンティア、ラテン語）  
= con（共に）+ scire（知る）
- その元になるのは συνείδησις（シュネイデーシス、ギリシア語）  
= συν（共に）+ εἶδω（知る、考える）
- （参考）ドイツ語 Gewissen = ge（共に）+ wissen（知る）

4

## 【復習】 誰と「共に知る」のか？

- ・自己の内面的な対話（内なる他者との対話）【個人的良心】
- ・他者と「共に知る」 【社会的良心】
- ・神と「共に知る」 【信仰的良心】

5

## 未来世代に対する責任

- ・世代間倫理（intergenerational ethics）
  - ・未来世代と「共に知る」
- ・アドバンスト・リベラルアーツ【復習】
  - ・未来社会、「次の環境」への責任を担う。未来世代と「共に知る」（conscience）（近代以降の現在世代中心主義との比較！）。

6

## 環境問題とエネルギー

- ・エントロピー増大の法則（熱力学の第二法則）
  - ・放っておけば、エントロピー（乱雑さの程度）は大きくなっていく。
  - ・生物も例外ではない。食物の形で低エントロピーの物質を体内に取り込み、高エントロピーの老廃物を排出することによって、身体内のエントロピー状態（ホメオスタシス）を維持している。分解と合成の流れを維持。
- ・環境問題のすべては、人間のエネルギー消費と関係している。

7

## エネルギーをどのように取り入れているか？

- ・食物
  - ・細胞を動かし、維持するためのカロリー（熱量）やタンパク質等が必要。
  - ・植物や動物の採取と儀礼の発生、集団の拡大  
→ **宗教の起源**
- ・食物以外
  - ・太陽、火、風力、水力、電気、原子力



8

## 近代化と環境破壊

- ・ 19世紀末～20世紀：銅の需要が急増した時代（日露戦争等の軍需）。社会の電氣化の進行。
- ・ 足尾銅山鉍毒事件：足尾銅山から有毒重金属を含む廃水が流れ、漁業・農業に甚大な被害をもたらす。
- ・ 1891年、田中正造による政府批判。1907年、やなか谷中村の廃村（「富国強兵」の犠牲）。



9

自然環境

社会環境

文化的環境

10



11

自然環境

社会環境

文化的環境

「次の環境」

最適技術

12

# 2

## 良心の境界

### — 「共に知る」コミュニティの変遷 —

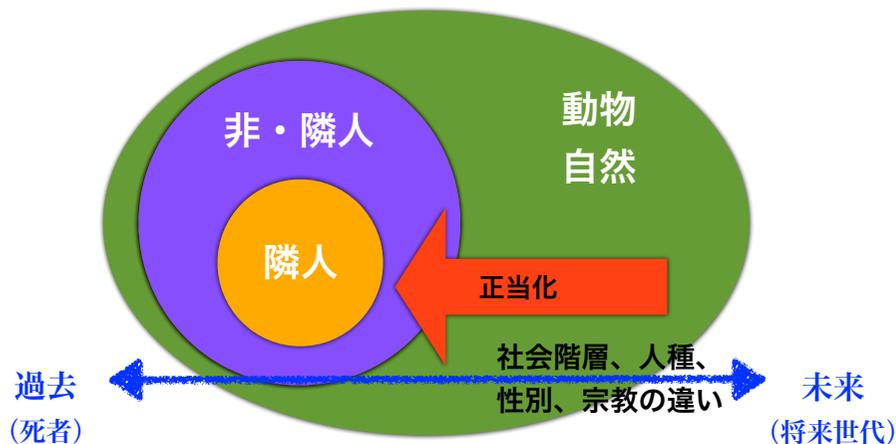
13

## スキエンティアとコンスキエンティア

- ・【復習】「共に知る」範囲を狭く設定することによって、科学はその専門性を増すことができる。しかし同時に、自らに都合よく「共に知る」範囲を限定することにより、科学が社会的弱者や「非生産的」人間を排除してきた歴史的教訓から学び続ける必要がある。

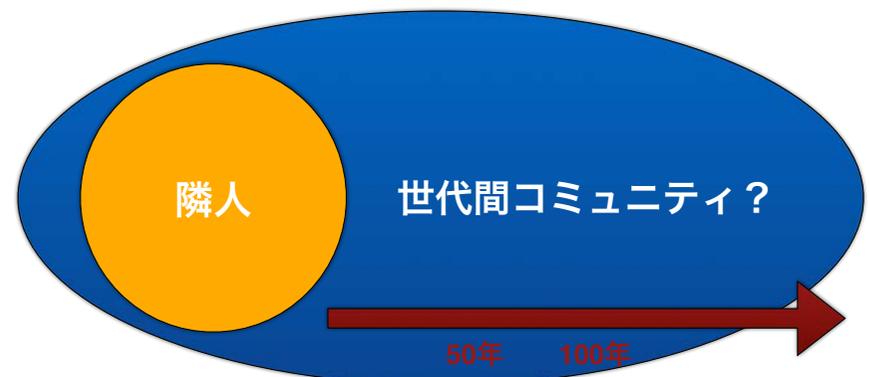
14

## コミュニティ意識の変遷



15

## 世代間におけるエネルギーの適正配分



16

# 3

## 「次の環境」と良心の拡張

17

「次の環境」と良心 → ecological conscience

良心のコスモロジカルな次元

→ cosmological conscience

世代間の不公平を抑制する良心

→ intergenerational conscience

18

## 良心の拡張



- 技術革新によって、自然と人工の区別が曖昧になってきている  
(**自然と人工の非区別化**)。たとえば、ヒトゲノム編集、BMI (Brain-machine Interface)、人工知能など。
- 人工物 (AI) における良心——自由意志を前提とする

19

## AIの社会実装

- 人間（特に現代人）の志向性や価値判断の多くは技術によって媒介されており、人間は純粋な意味で自律的存在あるとは言えない（ピーター=ポール・フェルベーク『技術の道德化——事物の道德性を理解し設計する』法政大学出版社、2015年）。
- **AIの社会実装の拡大**は、この傾向に拍車を掛けることになる。
- 人間と人工物（技術）の根源的な相互浸透性を視野に入れることのできる価値規範 (**良心の拡張**) が求められる。

20

## 「次の環境」を考える

- 「次の環境」：腸内環境から宇宙まで
- 現在世代中心主義、人間中心主義、地球中心主義を越える環境理解が求められる。

21

## 4 今回の課題（1200字以内）

- 「次の環境」を考えるために、もっとも重要なことは何でしょうか。今回学んだ内容を踏まえて、あなたの回答を述べて下さい。
- 『良心から科学を考える』第8章「エネルギー問題の倫理」を読み、印象に残った箇所を、その理由と共に説明して下さい。

22